

1.1 2023 年度 事業報告書

1. 2023 年度活動指針

5 年戦略(2023~2027 年)「開花」を実現するため、各事業の戦略を立案し、スタッフの役割と責任を再定義する。また、クリケットの発展を担う人材の育成を進め、より多くの参加者、ファン、パートナーを惹きつけるパワフルなイベントを実施する。

2. 2023 年度実施事業

1. 普及事業

事業名	事業内容					事業報告
「クリケットのまち」づくり	地域 / まち	ジュニア	ソーシャル	施設	サポータークラブ	<ul style="list-style-type: none"> ● クリケットブラスト、ソーシャルリーグは別項目参照 【亶理】 <ul style="list-style-type: none"> ● グラウンドを大会で使用開始 【佐野】 <ul style="list-style-type: none"> ● サポータークラブの 2023 年受領会費は、約 5,852 千円 【昭島】 <ul style="list-style-type: none"> ● サポータークラブの 2021 年受領会費は、2,181 千円 【山武】 <ul style="list-style-type: none"> ● グラウンドを年間予約 【川崎】 <ul style="list-style-type: none"> ● グラウンドを年間予約
	東北 / 亶理	○		○		
	北関東 / 佐野	○	○	○	○	
	西関東 / 昭島	○	○	○	○	
	東関東		○	○		

	<table border="1"> <tr> <td>/ 山武</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東京近郊 / 川崎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東海 / 富士</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関西 / 貝塚</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	/ 山武					東京近郊 / 川崎	○	○	○		東海 / 富士		○	○		関西 / 貝塚	○	○	○		その他			○		<p>【富士】</p> <ul style="list-style-type: none"> グラウンドを年間予約 <p>【貝塚】</p> <ul style="list-style-type: none"> グラウンドを年間予約
/ 山武																											
東京近郊 / 川崎	○	○	○																								
東海 / 富士		○	○																								
関西 / 貝塚	○	○	○																								
その他			○																								
<p>CRICKET BLAST プログラム</p>	<p>楽しいクリケットの体験、学習、習慣づける機会を「クリケットのまち」を中心に提供する。特に普及員研修、教員研修、大学やスポーツ団体などとの連携によって指導者やボランティアの育成及び教材開発を図る。</p>	<p>【巨理（含む周辺自治体）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校プログラムで、14 校、14 回で 702 人(延べ 702 人)に体験・学習提供 教員向け指導者育成講習会で、1 回開催し、17 人が参加 <p>【佐野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校プログラムで、11 校、30 回で 583 人(延べ 907 人)に体験・学習提供 体験会で、9 回開催し、1,083 人が参加 スクールシリーズで、4 校、103 人(延べ 403 人)が参加 秋季シリーズで、4 回実施し、70 人(延べ 95 人)が参加 市長杯で、4 チーム 51 人が参加 																									

		<p>【昭島】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校プログラムで、9 校、44 回で 684 人(延べ 1,019 人)に体験・学習提供 • 部活動で、89 回実施支援し、6 名所属 • 秋季シリーズで、4 回実施し、37 人(延べ 69 人)が参加 • 市長杯で、4 チーム 31 人が参加 <p>【川崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校プログラムで、2 校、8 回で 229 人(延べ 229 人)に体験・学習提供 • 夏季シリーズで、4 回実施し、16 人(延べ 25 人)が参加 <p>【江戸川】</p> <ul style="list-style-type: none"> • CB カップを、3 回開催し、14 チーム 112 人が参加 <p>【貝塚】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校プログラムで、1 校、1 回で 40 人(延べ 40 人)に体験・学習提供 • 秋季シリーズで、4 回実施し、18 人(延べ 50 人)が参加 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校プログラムで 12 校、17 回で 456 人(延べ 527 人)に体験・学習提供 • 体験会で、3 回開催し、約 150 人が参加
<p>ジュニアクラブ</p>	<p>財政的に自立した地域クラブを「クリケットのまち」中心に展開し、小学生から高校生までのジュニア層に日常的にクリケットをする機会を提供すると</p>	<p>【佐野ブレイブス(ハードボール)】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎週、月曜日開催、30 人所属 <p>【佐野オリオンズ(ソフトボール)】</p>

	<p>ともに、生涯にわたってスポーツにかかわる習慣や情熱を育む。また、クリケットの発展を担う人材や世界で活躍できる選手の育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎週、木曜日(エンジョイ、スキルアップ)と金曜日(エキスパート)開催、12 人所属 <p>【佐野ウォータークラウン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週、水曜日(エンジョイ、スキルアップ) 開催、6 人所属 <p>【昭島アビエーターズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週、金曜日(エンジョイ、エキスパート)開催、32 人所属 <p>【川崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たなジュニアクラブを開設、毎週、水曜日 (エンジョイ、スキルアップ) 開催、11 人所属
ジュニアチーム	<p>特に「クリケットのまち」などの周辺の中学、高校、インターナショナルスクールなどで U19 や U15 の学校チームの設立を支援し、U19 や U15 世代での競技人口増加を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ラグビースクール、マルバーン・カレッジなどとクリケット活動について協議を開始
パートナーシップ	<p>世界のクリケット関係団体との人材交流によって、スポーツの発展に必要な専門的人材を確保・育成するとともに、スポーツによる国際親善を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 下記のパートナーからコーチや選手を招聘 <ul style="list-style-type: none"> Cricket Victoria Marylebone Cricket Club Cricket Without Borders Titans Cricket 下記のパートナーにコーチや選手を派遣 <ul style="list-style-type: none"> Titans Cricket
CRICKET FOR SMILES プログラム	<p>復興支援事業として、東北地域の「クリケットのまち」の候補地選定を推進し、仙台大学女子日本代表チャレンジを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仙台大学クリケット部へのコーチ派遣を実施

		<ul style="list-style-type: none"> 仙台大学と連携して、亘理町及び周辺自治体で、学校訪問、教員向け指導者育成講習会を実施（CRICKET BLAST プログラム参照）
指導者育成	リーグやクラブにおいて、コーチ・アンパイア、スコアラーなどを育成し、競技人口増加、選手育成、大会運営を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> レベル 1 アンパイア講習会を関東で 1 回、関西で 1 回開催 レベル 2 アンパイア講習会を関東で 2 回、関西で 1 回開催 審判団の研修を 1 回開催 レベル 1 コーチ講習会を 1 回開催 アンパイア講習会には 97 人、コーチ講習会には 18 人が参加
グラウンド維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 佐野市国際クリケット場（2 面） 佐野渡良瀬川河川敷クリケット場（7 面） 富士クリケット場（2 面） 	<p>【佐野市国際クリケット場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2022 年度の業務報告 2023 年度の整備計画立案と受注 維持管理業務の実施 <p>【佐野第 1~4 クリケット場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理の実施 <p>【富士第 1~2 クリケット場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理の実施 グラウンドマネージャーとの調整
施設整備	各地域で戦略的立地にグラウンドや練習設備の整備を進め、競技人口増加を促進させるとともに、交流人口の増加やグラウンド周辺での普及活動によって地域との共栄を促進する。	<p>【昭島市近辺でのグラウンド候補地の調査・協議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 超党派クリケット議員連盟と協議開始 <p>【佐野市国際クリケット場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーリングマシンの設置（寄付） <p>【東関東】</p>

		<ul style="list-style-type: none"> マットピッチを購入
--	--	---

2. 大会事業

事業名	事業内容	事業報告
ハードボール大会 (U15/U19/大学/女子/男子)	<p>それぞれの年齢、性別、レベル、形式に応じた全国大会を開催する事で、地域大会の開催を支援し、プレーする場を提供するとともに、スポーツツーリズムを推進し、地域との共栄を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本プレミアリーグ 女子日本プレミアリーグ ジャパンカップ全国決勝大会 ジャパンカップ地域予選(東北、北関東、東関東、西関東、南関東、東海、関西) 日本クリケットリーグ コミュニティカップ Women's J-BASH 日本女子クリケットリーグ チャンピオンズウィケット(学生) 関東学生選手権(男女) 関西学生選手権(男女) 日本 U19 クリケットリーグ 日本 U15 クリケットリーグ 	<ul style="list-style-type: none"> 日本プレミアリーグ、関東及び関西の 5 地域代表が出場 女子日本プレミアリーグ、東及び西の 2 チームで開催 ジャパンカップ全国決勝大会、6 地域から 12 チームが出場 ジャパンカップ地域予選 <ul style="list-style-type: none"> 北関東、13 チーム出場 東関東、15 チーム出場 西関東、12 チーム出場 南関東、10 チーム出場 東海、3 チーム出場 関西、16 チーム出場 日本クリケットリーグ <ul style="list-style-type: none"> 1 部、12 チーム出場 2 部、10 チーム出場 3 部、9 チーム出場 コミュニティカップ、12 チーム出場 Women's J-BASH オールスターズ 2 回開催

		<ul style="list-style-type: none"> • Women's J-BASH チャレンジリーグ中止 • 日本女子クリケットリーグ、6 チーム出場 • チャンピオンズウィケット(学生)開催 • 関東学生選手権(男女)、男子 5 チーム、女子 2 チーム出場 • 関西学生選手権(男女)、男子 4 チーム、女子 2 チーム出場 • 学生新人戦、男子 4 チーム、女子 2 チーム出場 • 日本 U19 クリケットリーグ、10 チーム出場 • 日本 U15 クリケットリーグ、10 チーム出場
ソーシャルリーグ	<p>女性、大学生、在日外国人などを主なターゲットに都市部で、また「クリケットのまち」で、スポーツと交流が気軽に楽しめる、革新的なソーシャル(簡易版)クリケットによって競技人口増加、ダイバーシティに富むコミュニティの形成を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • チャンピオンズトロフィーを開催 • SBI カップ、38 チーム出場 • 佐野ソーシャルリーグ、3 回開催し、7 チーム出場 • 昭島クリケット祭り、3 回開催し、21 チーム出場 • 貝塚ソーシャルリーグ、1 回開催し、8 チーム出場 • クリケットチャンピオンシップ山武、13 チーム出場 • Women's J-BASH ソーシャル、4 チーム出場 (43 人) • スポンサー感謝デー : 4 チーム出場 • 学生連盟ソーシャルクリケット : 3 回開催し、8 チーム出場
地域協会支援	<ul style="list-style-type: none"> • ジャパンカップ地域予選開催支援 • 設立、運営支援、その他活動支援 	<p>【地域協会支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ジャパンカップ地域予選開催を支援

3. 強化事業

事業名	事業内容	事業報告
選手育成	優れたポテンシャルを持つ選手を発掘し、生涯にわたってスポーツにかかわる人材を育成する。特にクリケットの発展を担う人材や世界で活躍できる選手を育成する。	<p>【強化選手団・アカデミー等強化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男子、女子、アカデミーの各選手団の合宿を実施 年間で強化活動を実施 スリランカ育成チームを招聘 女子日本プレミアリーグに海外から 6 選手招聘 FairBreak Invitational 2023 と 2 選手がプロ契約
国際大会	世界で活躍できる日本代表を育成し、アスリートのポテンシャル実現、スポーツによる国際親善、スポーツの素晴らしさの発信、クリケットの認知向上、ファン増加などを促進し、生涯にわたってスポーツにかかわる人材を育成する。特に、日本人スター選手の育成によって発信力を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> 女子東アジアカップ（中国）で 3 位 ICC U19 ワールドカップ東アジア太平洋予選（オーストラリア）で 2 位 ICC 男子 T20 ワールドカップ東アジア太平洋予選（パプアニューギニア）で 2 位 ICC 女子 T20 ワールドカップ東アジア太平洋予選（バヌアツ）で 4 位 第 19 回アジア競技大会(広州)で男子代表が出場し 1 勝 1 敗で予選リーグ敗退 ACC U19 プレミアカップで 3 位 ACC U19 アジアカップで 0 勝 3 敗で予選リーグ敗退

4. 組織事業

事業名	事業内容	事業報告
コミュニケーション	多くの人を魅了するイベント、プログラム、選手などの実施や広報により、クリケットの価値を発信し、競技人口やファンの増加を促進する。 <ul style="list-style-type: none">ウェブサイト、SNS、ニュースレターを活用した情報発信定期的なライブ配信やビデオ配信	<ul style="list-style-type: none">各地域協会、大会運営委員会とのコミュニケーションウェブサイト、SNS、試合のライブ配信、プレスリリース、ニュースレター配信などを実施
ガバナンス &コンプライアンス	健全で発展的な協会運営によって競技人口の増加を図るため、協会の発展に応じて、最善のガバナンスと最高のコンプライアンスを達成するために組織強化を推進する。	<ul style="list-style-type: none">総会を開催地域協会会議を開催ICC 総会出席ICC への 2022 年財務及び事業報告ICC への 2022 年統計調査ICC への 2023 年財務報告を四半期ごとに報告スポーツ庁のガバナンスコードに基づき、ガバナンス改善取り組みを継続実施日本オリンピック委員会への年度報告日本アンチ・ドーピング機構への年度報告日本レクリエーション協会への年度報告国税庁への収益事業の財務報告

5. 財務事業

事業名	事業内容	事業報告
寄付金・スポンサー	事業の拡大によって競技人口の増加を図るため、寄付金やスポンサーを募集する。	<ul style="list-style-type: none"> ● RP アドバイザリー株式会社とパートナー契約を更新 ● 三井農林株式会社とパートナー契約を更新 ● 三井情報株式会社を中心に観戦会、社内イベントなどを実施 ● グローバルトラストネットワークス株式会社とエンバシーカップパートナー契約を締結 ● 三井情報株式会社 MKI 社と男子日本代表パートナー契約を締結 ● 美津濃株式会社と日本代表サプライヤー契約を締結 ● エンバシーカップなどのイベントにを招待し、観戦会を実施
その他の収入	事業の拡大によって競技人口の増加を図るため、受益者負担制度などにより、コスト負担の均等化を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐野市国際クリケット場のティールームの営業 ● SICG アカデミーに 12 名が所属 ● クリケット指導の受託 ● ライブ配信の放映権を販売